

# めぐみイエス・キリスト教会

2023年8月20日(日)第三主日礼拝

午前10時より

週報「通算第670号」



## 2023年標題聖句

### 第Iヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌259「聖いふみは教える」	p. 404
【交読文】	No.33 詩篇第104篇	p. 906
【賛美Ⅱ】	新聖歌339「恵みの高き嶺」	p. 538
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【先週説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル曲No.1「主の十字架」	
【聖書朗読】	ルカの福音書1章26節～38節(新約p. 107下段右側)	
【礼拝説教】	《マリアの受胎告知》	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌165「栄光イエスにあれ」	p. 235
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

### ※本日の聖書箇所(ルカの福音書1章26節～38節)

1:26 さて、その六か月目に、御使いガブリエルが神から遣わされて、ガラヤのナザレという町の一人の処女のところに来た。

1:27 この処女は、ダビデの家系のヨセフという人のいいなずけで、名をマリアといった。

1:28 御使いは入って来ると、マリアに言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。」

1:29 しかし、マリアはこの言葉にひどく戸惑って、これはいったい何のあいさつかと考え込んだ。

1:30 すると、御使いは彼女に言った。「恐れることはありません、マリア。あなたは神から恵みを受けたのです。」

1:31 見なさい。あなたは身ごもって、男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。

1:32 その子は大いなる者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また神である主は、彼にその父ダビデの王位をお与えになります。

1:33 彼はとこしえにヤコブの家を治め、その支配に終わりはありません。」

1:34 マリアは御使いに言った。「どうしてそのようなことが起こるのでしょう。私は男の人を知りませんのに。」

1:35 御使いは彼女に答えた。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれます。」

1:36 見なさい。あなたの親類のエリサベツ、あの人もあの年になって男の子を宿しています。不妊と言われていた人なのに、今はもう六か月です。」

1:37 神にとって不可能なことは何もありません。」

1:38 マリアは言った。「ご覧ください。私は主のはしためです。どうぞ、あなたのお言葉どおり、この身になりますように。」すると、御使いは彼女から去って行った。

### ●ポイント1.「マリア」とは？

■マリア マリアという名は、ギリシヤ語ではマリア(マリウム)と言われている。マリウムはヘブル語のミルヤームのギリシヤ語音訳であり、旧約聖書中のモーセの姉ミリヤムの名に由来する、ポピュラーな名前でもある。

### ●ポイント2.「イエス」とは？

■イエス ヘブル語のイエーシューア(救い)、またはイエホーシューア(主は救い)をギリシヤ語化(イエスース)したもので、ユダヤ人の間で、かなり一般的に用いられていた個人名でもある。旧約世界の指導者の一人ヨシュアは、新約聖書の中での原語では、イエスとなっている。

### ●ポイント3.「あなたのお言葉どおりになりますように」とは？

※詩篇146篇5節「神、主に望みを置く人」 (旧約p.1088上段)

146:5 幸いなことよヤコブの神を助けとしその神【主】に望みを置く人。

## ◎先週の礼拝メッセージ【その時が来れば】

《御使いは、妻エリサベツが男の子を産み、その名をヨハネとつけるようにと伝えます。しかし、ザカリヤは、次のように答えるのです。「私はそのようなことを、何によって知ることができるでしょうか。この私は年寄りですし、妻ももう年をとっています。」

これは不信仰の何ものでもありません。かつて、同じ様な場面が、創世記の時代にありました。百歳のアブラハムと九十歳のサラに男の子が与えられることを、主が告げられた時、アブラハムは神様の言葉を信ぜず、笑ったのです。それゆえ、その子はイサク(笑う)と言う名前がついたのです。さて、ザカリヤはしるしを求めました。

「この私は神の前に立つガブリエル(神の人)です。あなたに話をし、この良い知らせを伝えるために遣わされたのです。」

そして、ザカリヤの願い通りに、しるしが与えられます。そのしるしとは、ヨハネが生まれるまで、口がきけなくなることでした。これは、ザカリヤの不信仰への懲らしめを、含めたしるしと言われています。

人は、祈っていたことが成就すると、驚くのです。これは、口では「信じています」と言いながらも、実は心の奥底では、期待していないからです。このことを、主の兄弟ヤコブは次のように教えています。『ただし、少しも疑わずに、信じて求めなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。その人は、主から何かをいただけると思っはなりません。そういう人は二心を抱く者で、歩む道すべてにおいて心が定まっていないからです。』と。

また、ガブリエルは、「その時が来れば」とも言いました。神様が言われたことは、必ず成就します。しかし、それには時があるのです。

神様は、預言者イザヤを通して、次のように言われています。『私は後の事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、私の計画は成就し、私の望む事とをすべて成し遂げる。』と。》

## ◎お知らせ

※次回礼拝は、8月27日(日)で、通常通り、午前10時からです。